

地域活性化対策特別委員会委員長報告

(H25, 02, 21日開催)

地域活性化対策特別委員会の報告をさせていただきます。

委員会は、付託審査事項であります「新駅問題後継プランなど 地域及び経済の活性化に向けたまちづくりについて」を審査するため、閉会中の2月21日、市長、副市長、関係部長、関係課長等の出席を求め、開催いたしました。

以下、審査において、質疑を行いました主なものをご報告申し上げます。

まず

まちづくり基本構想（後継プラン）に係る基盤整備について

下鉤出庭線、蜂屋手原線、集落間連絡道路、支線道路、また中央都市下水路など、現在の工事の状況と平成25年度の事業計画について説明を受けました。

そのなかで、委員より下鉤出庭線の蜂屋集落から、県道片岡栗東線までの^{ほうせん}法線の変更についての質疑に対し、当局より、本年の夏頃に法線の変更について都市計画決定の変更を目指すもので、平成25年度において委託業務のなかで法線を検討をしていく。との答弁がありました。

また、委員より、

国道から蜂屋手原線に入り下鉤出庭線に至るルートの完成の^{めど}目処について、また現在、整備された道路の一部区間において供用されているが、

それらにおける交通安全対策についての質疑に対し、

当局より、

都市計画道路 2 路線の事業認可は平成 2 2 年度から 2 6 年度であることから、後 2 ヶ年間で供用開始を目指していく。また交通安全対策については公安委員会と事前協議をおこない、今現在とれる最大限の安全対応を図っている、との答弁がありました。

また、当局から、1 月末現在のリチウムエナジー日本の雇用状況について、説明を受けました。

リチウムエナジー日本の従業員は 1 6 4 名で、前回 1 1 月の報告より 1 名の減である。そのうち栗東市在住は 4 3 名で、新規雇用 7 名の内栗東市在住は 3 名である。また、請負会社において、従業員は 5 8 4 名で前回の報告より 2 2 9 名の増である。栗東市在住は 1 0 5 名で前回の報告より 6 0 名の増である。との報告がありました。

これに対し、委員より。企業への工場等誘致奨励金を交付しているなかで、市内在住の方の雇用が増える見込みはあるのかとの質疑に対し、当局より

雇用拡大を図っていただけるよう申し入れをしている。2 期工事も進む中で今後共努力をしていく、との答弁がありました。

以上、委員会の審査経過と概要について報告させていただきましたが、当委員会が付託を受けております「新駅問題後継プランなど 地域及び経済の活性化に向けたまちづくりについて」は、解決すべき諸問題、課題が山積しておりますことから、当委員会と致しまして、継続審査とすることと致しました。

以上で、地域活性化対策特別委員会の中間報告とさせていただきます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。